

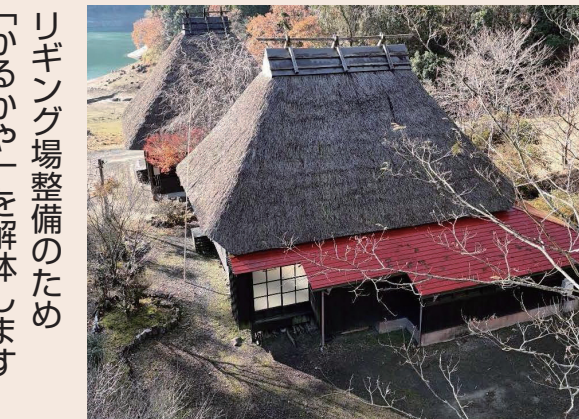
小野湖の整備計画が決定しました

今後の整備スケジュール

**現在
～令和7年7月下旬**
**カヌー・ローイング
競技場の設計**
カヌー（スプリント）
競技とローイング競技
のリギング場及び審判
席などの設計を行う
（地質調査を含む）。

**令和7年9月
～令和9年1月末**
**リギング場、
審判席等の整備工事**
現在行っている岩山掘
削・砂撤去工事（台船
作業）が完了した後、
リギング場・審判席等
の整備工事を行う。

**令和9年1月
～令和9年8月**
**カヌー・ローイング
競技場の会場設営**
令和9年9月、10月
の国スポ開催に向けた
会場設営を行う。
※同年6～7月にはリハー
サル大会を実施予定



リギング場整備のため
「かるかや」を解体します

山里にひっそりとたたずむ茅
葺き屋根の古民家として、これ
まで多くの観光客を迎え入れて
きた「茅葺きの宿かるかや」。

西諸管内から約120年前の
古民家を移築して建設されたも
ので、平成5年に民間事業所が
運営をスタートしました。その
後、一時期休業していましたが、
平成15年に旧須木村が運営を再
開。平成18年度から指定管理者
制度による、すきむらんど施設
の一部として、現在まで運営を
行ってきました。

今回、国民スポーツ大会（カ
ヌー競技とローイング競技）の
実施に必要なリギング場を整備
するために、飲食や宿泊で利用

されている湖畔の古民家5棟を
解体することを決定しました。

今後、令和7年3月末には、
食事の提供や宿泊の営業を終了
し、令和7年4月～7月末の間
で解体を進めていく予定です。

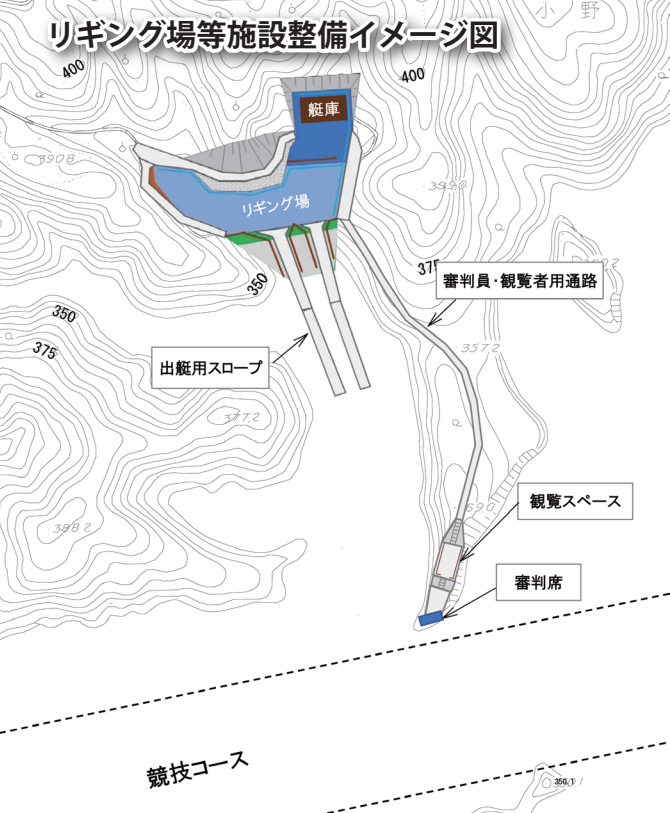
かるかや解体後は 新しい代替宿泊施設を整備

耐震性や維持管理費の問題か
ら、移築はしない計画ですが、
施設解体後は「かるかや」の材
木の一部を活用した代替宿泊施
設の整備も検討していきます。

これまで行ってきた、須木地
区区長会や住民への説明会では、
解体を惜しむ声もありまし
たが、この事業を起爆剤に須木
地区を盛り上げてほしいという
意見が多くありました。

市として、須木地区をはじめ
とする、市内全域の10年後、20
年後を見据え、市内外から多く
の人たちが訪れる施設整備を進
めていく必要があります。

今後立ち上げる予定の地域住
民を含めた検討委員会で意見を
集約しながら、建設計画の協議
を進めていきます。



リギング場とは

ボートやオールの各部を自分が漕ぎやすいように調整したり、ボートに乗り降りするための場所のことです。

カヌー競技とローイング競技とは？

■カヌー（スプリント）競技

流れのない川・湖・ダム・港などに直線コースを設置し、一斉にスタートして着順を競います。漕ぎ方と姿勢が異なるカヤックとカナディアンの2種類があり、500メートルと200メートルの2種目で行います。

■ローイング競技

海・湖・川などに設置された距離1,000mの直線コースで着順を競います。スタート地点での加速感、レース中盤でのペース配分や駆け引き、レース後半でのラストスパートなど、コース全般で見どころが盛りだくさんです。



茅葺きの宿かるかや宿泊施設 解体及び利活用事業 公募型プロポーザルを実施します

新たなリギング場整備のため、かるかや解体を決定しました。希少価値のある古民家であることから、施設の解体で終わるのではなく、その希少価値を最大限に利活用するために、「かるかや」を利活用する購入者を公募します。

■契約金額
1万円以上／1棟あたり（上限額は設けない）

■公募施設 4棟
①銀寄 ②利平 ③出雲 ④丹沢（全て宿泊棟）

■審査基準
かるかや棟（部材含む）の利
活用計画や利活用場所、購入
希望額などをもとに審査

■その他 契約者など詳細が
決まり次第、お知らせします



▲詳細はコチラ